

## 分野ごとの評価理由のまとめ

まとめ	よいところ	気になるところ
1. 住民とともに進めるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア団体などがあって、形（組織）はできている</li> <li>住民福祉活動ボランティアの参加が多い。⇒サロンなど</li> <li>人がやさしい</li> <li>子どものあいさつが多い。大人が子どもに積極的に声をかける</li> <li>体操教室・サロンなどが増えている。ボランティア団体が多い</li> <li>自治区のボランティアがすごい</li> <li>住民参画など会議が多い</li> <li>朝の交通安全など、毎日立って来ていたりしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>役場と住民の間に温度差がある</li> <li>住民参加、高齢者が多い</li> <li>地域差がある</li> <li>協力者・非協力者がはっきりしている</li> <li>毎回同じ人が行事に集まる</li> <li>外から来た人に冷たい。よそ者、どこから来た？ときかれる</li> <li>芦屋と山鹿。橋を境に2つに分かれている（山鹿組、芦屋組）</li> <li>ボランティアにはいつも同じ団体・人が参加している</li> <li>住民の意見を反映していない</li> <li>ボランティアをしている方々への感謝がない。広報活動でもっと広めるべき</li> </ul>
2. 安全で安心して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は頑張っています！！</li> <li>災害が少ない</li> <li>消防団の活動。火災現場に着くのは郡内では芦屋がNo.1</li> <li>消防団の平均年齢が低い</li> <li>データ上、津波の心配がない</li> <li>通学路などで何かあった時、すぐに動いてくれる</li> <li>見守り隊がよく活動している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路と産業道路の住み分けが出来ていない（通学路が危ない）</li> <li>ハザードマップについての住民意識が低い</li> <li>災害への危機感が低い</li> <li>ドロボーが多い</li> <li>警察官が常駐していない</li> <li>町民の防災意識が低い</li> <li>災害（津波）誇大広告。安心感を与えて訓練を！</li> <li>青パトは限られた人しか乗れない。もっと青パトを活用すべき</li> </ul>
3. 子どもがのびのびと育つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の先生方はよく頑張っている！！</li> <li>特別支援教育に芦屋は力を入れている</li> <li>子ども会など子どもに関する事業が多い</li> <li>行事に子どもが参加している</li> <li>広い公園や町おこしのフェスタがある</li> <li>花火大会がある</li> <li>学校の設備がいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが少なくなっている</li> <li>行事が多く、勉強に時間を費やせているか。子どもにゆとりがない</li> <li>中央公園に遊具が少ない。公園の整備</li> <li>未就学の子は支援センターの利用があるが、小学生からはない</li> </ul>
4. いきいきと暮らせる笑顔のまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>小さい町ながら病院がある</li> <li>あしたの会のような共助が出来る団体が発足しているのが良い</li> <li>病院が新しい</li> <li>医療の充実</li> <li>お弁当の配達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療、福祉共に、もう一步踏み込んだ行動をしてほしい</li> <li>障がい者への対応は北九州に右にならえ。前例がないと動かない</li> <li>高齢者が高齢者を支えている</li> <li>特別支援学校が町に無く、他市町村に行く必要がある</li> <li>新しいグラウンド（アッシーグラウンド）の利用者がいないのが残念</li> <li>交通の便が悪い</li> </ul>
5. 活力ある産業を育むまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>砂像</li> <li>観光業</li> <li>サワラサミット</li> <li>農業祭</li> <li>お店を出展する新規の方への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担い手不足が解消されない</li> <li>土地がない</li> <li>観光資源はあるが、ホテルがない</li> <li>イカの不漁</li> <li>商店街 シャッターが閉まっている店が多い</li> <li>子どもとごはんを食べに行く場所がない</li> <li>観光業は力を入れているが、一次・二次産業の担い手がない</li> <li>農業・漁業に対する支援の不足</li> </ul>
6. 環境にやさしく、快適なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>町営住宅・公園がきれいになってきている</li> <li>公園など、環境は良い。きれい</li> <li>上下水道</li> <li>海もきれい</li> <li>道路の整備、改善がされている</li> <li>クリーンキャンペーンなどの環境美化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路交通の安全性が不安</li> <li>交通機関</li> <li>夏場に海浜公園の駐車場が有料なのはおかしい</li> <li>交通の便が悪い</li> <li>交通網の整備（道路）</li> <li>飛行機がうるさい</li> </ul>
7. 心豊かな人が育つまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化、スポーツ活動が盛ん</li> <li>芦屋釜が「文化」といえばすぐ出てくる</li> <li>体育館が充実している</li> <li>老朽化施設が徐々にキレイになっている</li> <li>同和教育を行っている</li> <li>子どもたちがあいさつしてくれる</li> <li>芦屋釜がある</li> <li>芦屋ならでの行事（浜運動会）</li> <li>生涯学習課長の活動力が良い</li> <li>釜の里を利用したイベントの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化施設はあるが活用されていない</li> <li>歴史の教育に偏りがある。川ひらたの教育にも力を入れるべき</li> <li>伝統文化を継承しているのか！？</li> </ul>

## 第6次芦屋町総合振興計画策定に向けた

# 住民ワークショップニュース

# 1号

## 芦屋町の通信簿をつくりました！

### プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 芦屋町総合振興計画とは？
3. 参加者自己紹介
4. ワーク「芦屋町の通信簿をつくろう！」
5. グループ発表
6. まとめ
7. 閉会



### ワークショップの構成

第1回 令和元年11月28日（木）  
テーマ 「今までのまちづくり」を振り返ろう

第2回 令和元年12月19日（木）  
テーマ 「未来のまちづくりの方針」を考えよう



まちづくりや町政の指針となる「第5次芦屋町総合振興計画」が令和2年度に計画期間が終了します。

そのため、次期計画である「第6次芦屋町総合振興計画」を策定するにあたり、これまでの計画の成果を検証するとともに、住民の皆さんのニーズやご意見をお聞きし、計画に反映させるために、ワークショップを開催しました。

第1回目となる今回は、「芦屋町の通信簿」と題し、これまで町で取り組んできた施策や取組を通信簿形式で評価していただきました。数字で評価してもらうだけでなく、評価の理由を語り、議論していただく中で、皆さんの町に対する熱い思いをお伺いできました！

第2回ワークショップでは、今回の結果をもとに、新たな10年間での取り組みアイデアや、町の将来像を議論していきたいと考えています。

## 芦屋町の現状の共有

統計情報や住民アンケートの結果より「芦屋町の現状」を共有しました。「安全・安心対策」「道路・交通の改善」「医療・社会福祉の整備」「生活環境の改善」等が課題となっています。

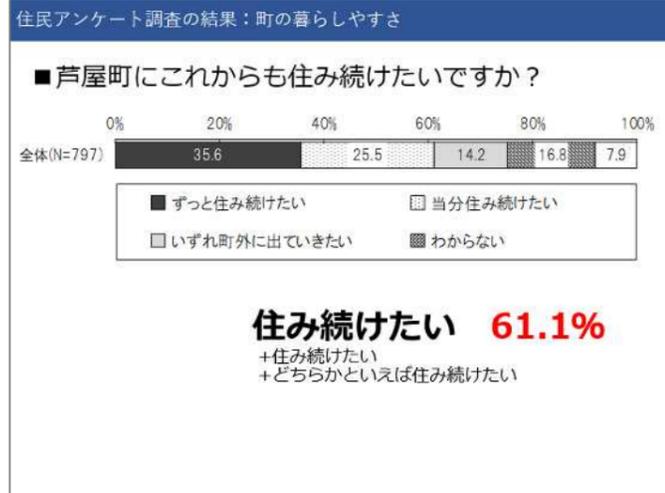
### ■芦屋町の人口（実績値・将来予測）



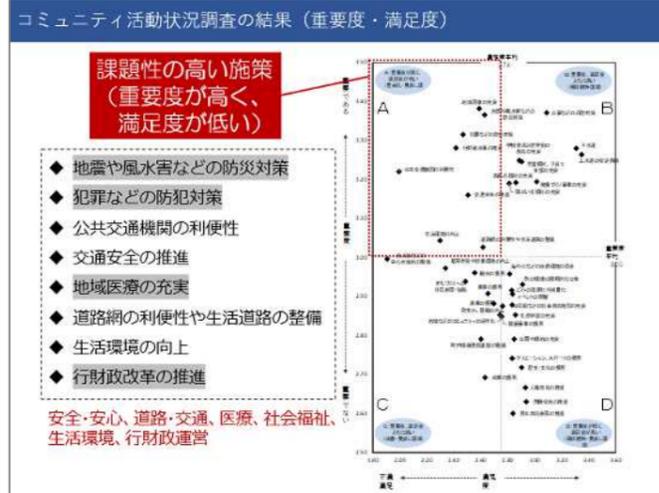
### ■芦屋町の年齢別人口（実績値）



### ■H29 住民アンケート調査の結果（住み続け意向）

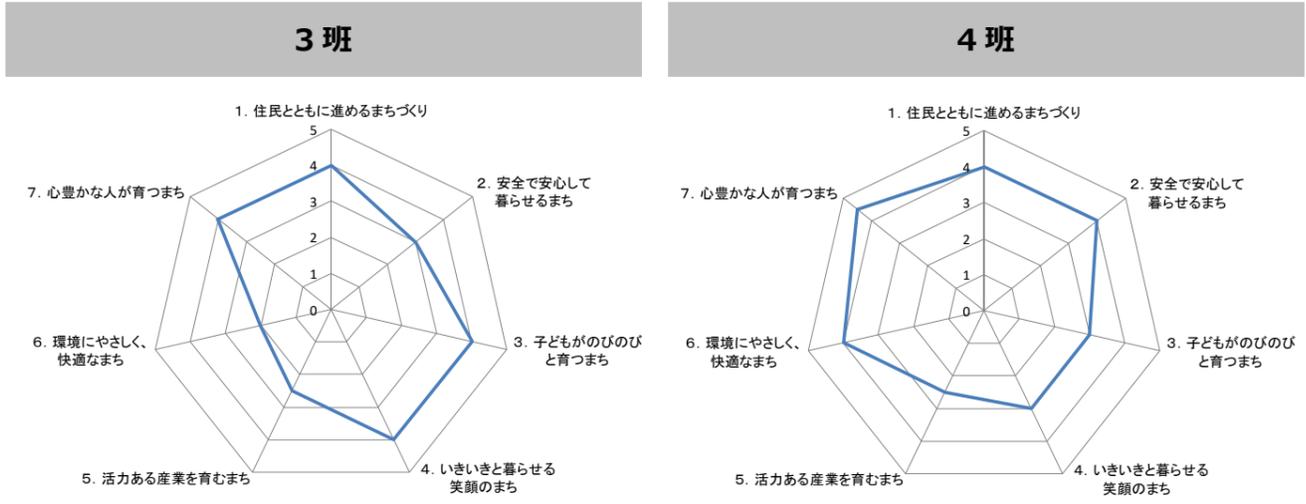
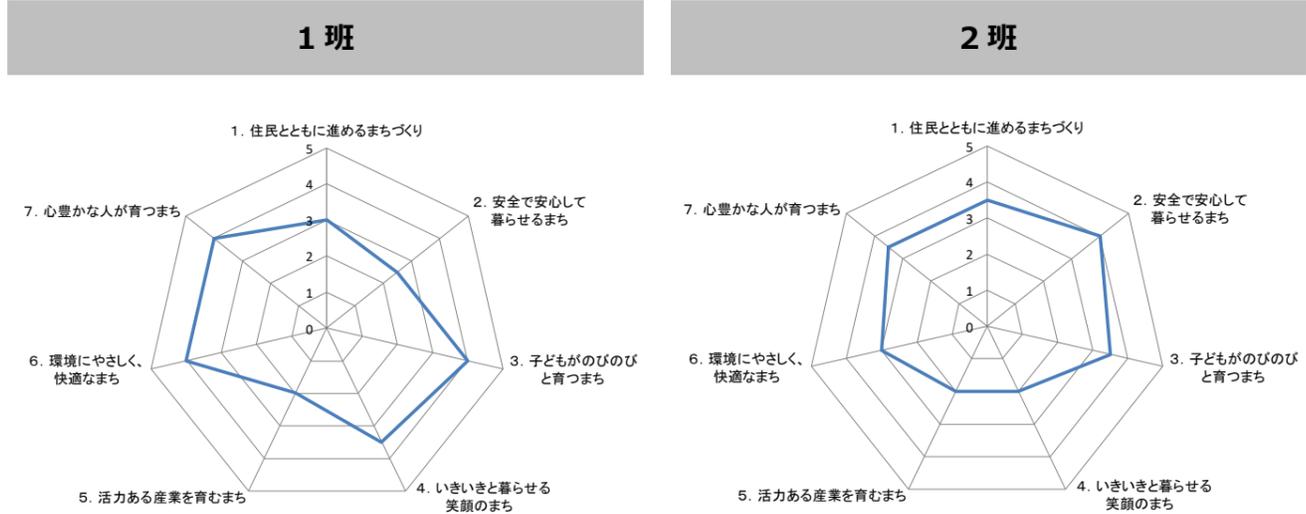


### ■H29 住民アンケート調査の結果（重要度・満足度）



## 各班の通信簿(レーダーチャート)のまとめ

分野別に5段階で評価し、通信簿づくりをしました。個々人の評価とその理由を踏まえ、班全体の評価を行いました。「伸ばしていくところ」は『心豊かな人が育つまち』、「改善していくところ」は『活力ある産業を育むまち』である、という結果になりました。



## ワークショップの様子



**【班ごとの評価点数の見方】**

ピンク は伸ばしていくところ（点数が高い）  
青 は改善していくところ（点数が低い）  
として各班で評価された分野です。

班ごとに特性はありつつも、「伸ばしていくところ」「改善していくところ」はおおむね共通しています！

基本目標/班	1班	2班	3班	4班
1. 住民とともに進めるまちづくり	3	3.5	4	4
2. 安全で安心して暮らせるまち	2.5	4	3	4
3. 子どもがのびのびと育つまち	4	3.5	4	3
4. いきいきと暮らせる笑顔のまち	3.5	2	4	3
5. 活力ある産業を育むまち	2	2	2.5	2.5
6. 環境にやさしく、快適なまち	4	3	2	4
7. 心豊かな人が育つまち	4	3.5	4	4.5